

令和6年度

雫石町コミュニティ・スクール

実践報告集

ふるさと雫石への誇りと愛着を育てる教育

～社会総がかりでの子育ての実現～



令和7年3月31日

雫石町教育委員会

目 次

雫石型コミュニティ・スクールの推進について・・・・・・・・	2
令和6年度雫石町コミュニティ・スクール推進事業・・・	3～4
令和6年度雫石町コミュニティ・スクール研修会・・・	5
令和6年度雫石町コミュニティ・スクール意見交流会・・・	6

【令和6年度各学校の取り組み】

雫石町立雫石中学校・・・・・・・・・・・・・・・・	7～13
雫石町立雫石小学校・・・・・・・・・・・・・・・・	14～17
雫石町立七ツ森小学校・・・・・・・・・・・・・・・・	18～20
雫石町立西山小学校・・・・・・・・・・・・・・・・	21～28
雫石町立御明神小学校・・・・・・・・・・・・・・・・	29～35
雫石町立御所小学校・・・・・・・・・・・・・・・・	36～40

「学校運営協議会」と「地域学校協働活動」の一体的な取り組みによる 雫石型コミュニティ・スクールの推進

雫石町では、令和3年度4月より、「開かれた学校」づくりを目指す学校評議員制度から「地域とともにある学校」づくりを目指す学校運営協議会制度に移行した。本年度で4年目となった。

各学校に学校運営協議会を設置し、学校運営についての話し合いを行った。また、地域と学校がWIN&WINの関係を目指す地域学校協働活動に取り組んでいる。地域と学校が一体となってコミュニティ・スクールを推進している。

現在、本町では、「ふるさと雫石への誇りと愛着を育てる教育」の実現に向けて教育諸政策を展開している。これは、現在の本町児童生徒の特色である「地域への愛着の高さ」や「地域活動への参加意欲」、あるいは「規範意識の高さ」といった「良さ・強み」を一層生かしながら、数十年後に地域で貢献できる児童生徒を育成しようとするものであり、「雫石型コミュニティ・スクール」は子どもたちの良き原体験としても、大きく役立つとともに具体が見える地域活動を実感し、地域への意識や愛着が一層高まっている。

今回、雫石町内6校の小中学校の学校運営協議会（コミュニティ・スクール）と地域学校協働活動・地域と学校の連携活動についてまとめた。



（高齢者宅の除雪をする雫石中学校雪んこ見守り隊）

令和6年度雫石町コミュニティ・スクール推進事業

1. 事業の目的

「学校運営協議会」と「地域学校協働活動」の一体的な取組みによる雫石型コミュニティ・スクールの推進。

2. 学校運営協議会制度

令和3年度より、「開かれた学校づくりを目指す学校評議委員会制度」から「地域とともにある学校づくりを目指す、学校運営協議会制度」に移行した。

各学校運営協議会において学校運営協議会を設置し、学校運営に参画していただける地域の方々を委員として委嘱し、地域と一体となってコミュニティ・スクールを進める、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5に規定されている下記のことについて協議を行う。

- ① 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- ② 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができる
- ③ 教職員の任用に関して、教育委員会で定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる。

3. 学校運営協議会

(1) 主な内容

第1回学校運営協議会（委員委嘱・学校運営方針承認・年間計画・地域学校協働活動の計画）

第2回学校運営協議会（上半期の学校評価・コミュニティ・スクール研修・地域学校協働活動）

第3回学校運営協議会（次年度学校運営方針承認・学校評価・次年度計画・地域学校協働活動）

(2) 令和6年度学校運営協議会実施日

学校名	第1回学校運営協議会	第2回学校運営協議会	第3回学校運営協議会
雫石小学校	5月11日 15:00～	12月3日 15:00～	2月25日 15:00～
七ツ森小学校	6月8日 10:00～	11月18日 13:30～	2月25日 10:00～
西山小学校	6月4日 13:20～	11月13日 13:45～	2月5日 13:45～
御明神小学校	6月6日 15:00～	10月19日 15:00～	2月14日 13:30～
御所小学校	6月13日 18:00～	10月10日 18:00～	2月20日 13:10～
雫石中学校	5月22日 14:00～	11月27日 14:00～	2月13日 18:00～

4. 地域学校協働活動

地域と学校が熟議を通して目標を共有しながら、従来の地域による学校支援だけでなく、地域にも学校にもメリットがあり、WIN & WINの関係の「地域とともにある学校」を目指す。

そのために、教育委員会内に地域学校協働活動推進員1名を配置し、社会教育指導員とともに地域学校協働を推進する。

5. 雫石町コミュニティ・スクール（CS）成果と課題

(1) 成果

- ① 学校運営協議会を各学校で年間 3 回実施した。委員による学校経営重点の承認や学校経営の評価を行った。学校課題解決に向けた話し合いも行われた学校もあり、各委員からの意見も活発になってきた。地域学校協働活動についての話し合いも増えている。
- ② 学校運営協議会委員研修会を実施した（講師 大槌町教育委員会 松橋文明 教育長）。
- ③ 今まで行われてきた地域連携や地域の学校支援がより活発になった。
- ④ 地域住民が学校に足を運ぶ機会が多くなり、地域と学校の交流が活発になる学校もあった。
- ⑤ 地域に積極的に出て学習するなど、地域住民と交流する機会が多くなった。

(2) 課題

- ① 学校運営協議会の話し合いや地域学校協働活動を充実させるためにも委員や教職員の研修を充実させたい。
- ② 地域学校協働活動は地域住民と学校の「熟議」で、広く地域住民と自由に話し合い、目標共有をしたい。
- ③ 地域住民が学校に集う機会を多く持ちたい。
- ③ まだまだ、地域と学校の関係は地域の学校支援が多く、リフォームして地域学校協働活動へと発展させたい。
- ④ 町内でのコミュニティ・スクールの認知度がまだまだ低い。

(3) 今後の取り組み

- ① 学校運営協議会委員や教職員対象のコミュニティ・スクール研修会を充実させる。
- ② 各コミュニティ・スクールで「熟議」の実施する。
- ③ 各地区の地域運営組織や公民館との連携・協働を推進する。
- ③ 地域の各団体や企業等の連携・協働を模索する。
- ④ 地域と学校が協働して WIN&WIN の関係性のある地域学校協働活動を目指す。
- ⑤ 地域学校協働活動を推進することにより、コミュニティ・スクールの活動を周知する。

令和6年度 雫石町学校運営協議会委員等研修会

～大槌町のコミュニティ・スクールの実践から学ぶ～

日時 令和6年10月2日(水) 14:00～16:00

場所 雫石町中央公民館大会議室

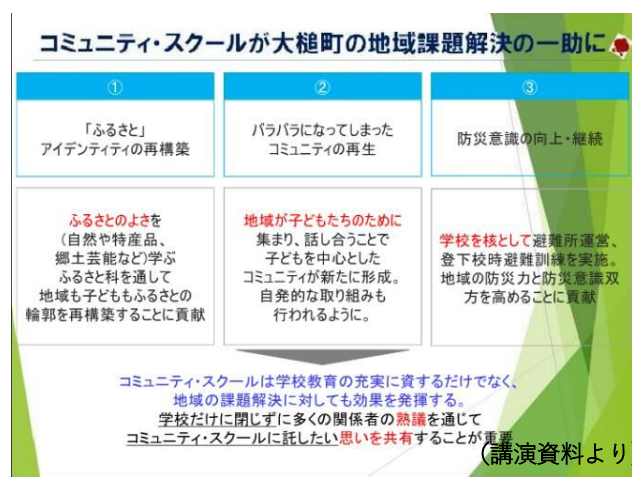
講師 大槌町教育委員会教育長 松橋文明 氏

今年度の雫石町CS研修会には、雫石町内各学校の学校運営協議会委員や民生委員、教育委員、学校関係者等34名が参加。

10月2日(水)、雫石町中央公民館で、コミュニティ・スクール研修会が行われました。昨年視察研修で訪れた大槌町の、松橋^{まつはし}文明^{ふみあき}教育長を講師に迎え、町内各コミュニティ・スクールの学校運営協議会委員・教員・町の教育委員会関係者等34名が参加し、大槌町の実践事例を学びました。大槌町の教育の3つの柱(0歳から18歳を貫く教育・ふるさと科・コミュニティ・スクール)や小中一貫教育について講義され、大槌学園内に^{いどばた}井戸端^{かいぎしつ}会議室は地域住民が気軽に足を運べる居場所となり、地域と学校を繋ぐ拠点にもなっています。



講演する松橋文明教育長



参加者の声

- 校舎の中に地域の方の活動場所「井戸端会議室」があることで学校と地域の協働活動がしやすくなったと思った。
- 少子化の時代なので、小中一貫校の必要性を感じる。
- 多くの地域の方が個々の強みを活かし教育活動をしていることに感銘を受けた。
- 9年生が地域と行った避難所運営訓練が、台風の際に役立ったことや、高校生が議会や町でプレゼンを行い、その考えが町の施策に反映される仕組みが素晴らしい。雫石でも子どもたちが地域活性化に寄与したくなるような仕組みや仕掛けを作っていきたいものである。



質問する参加者

令和6年度 雫石町 CS 意見交流会開催

2月12日(水)、中央公民館で令和6年度雫石町コミュニティ・スクール意見交流会が開催されました。町内小中学校の学校運営協議会委員や教員、地域づくり担当者、集落支援員、教育委員会が集まり、各学校が地域学校協働活動や地域と学校の連携活動を報告しました。

子どものアイデアや地域の意見から活動を展開したり、メディアを活用して活動の様子を発信するなど、他校の実践を知り、交流する機会になりました。

秋田県生涯学習センターの^{みながわまさひと}皆川雅仁氏から「雫石町の学校は、マンネリ化しない活動を展開している。地域と学校が子どもの成長を軸に目標を共有し、子どもも含め話し合い、都度確認しながら地域学校協働活動を展開していくことが期待される」と講評をいただきました。

中学校の実践発表の様子



質問する参加者



講評を述べる皆川氏

令和6年度 雫石中学校コミュニティ・スクール実践報告集

第1回学校運営協議会 6年5月22日(水) 14:00~16:00

- 今年度の学校経営方針及び年間計画について
- 教育課程および地域学校協働活動について
- 喫緊の課題について
- 部活動の地域移行について
- 開校50周年に向けて

第2回学校運営協議会 6年11月27日(水) 14:00~16:00

- 教育課程および地域学校協働活動について
- 喫緊の課題について
- 学校評価について
- 生徒の活躍
- 開校50周年実行委員会と事業について(案)

第3回学校運営協議会 7年2月13日(木) 18:00

- 教育課程および地域学校協働活動について
- 喫緊の課題について
- 学校評価について(総括)
- 生徒の活躍
- 開校50周年実行委員会と事業について(案)



◎古館裕貴 ○山津田いくみ 荒塚秀則
菊池由美子 細川正巳 澤口文香
櫻田七海 竹原歩 星合祐子 朝賀剛
櫻田一也 井口幸太 廣瀬誠 下川恵司
☆菊地正道 ★古館教之

雫石中学校家庭部 地域貢献活動 ファミリーマラソン炊き出し

疲れを癒す南部かしわ汁、召し上がれ～

5月12日(日)に雫石町総合運動公園でファミリーマラソンが開催され、雫石中学校家庭部15名が雫石町婦人会と南部かしわ汁1100食のお振舞いを行いました。

11日(土)午後、雫石町中央公民館調理室で、部員は大量の大根と人参のいちょう切りや、割りばしの袋入れ、七味唐辛子の準備などの仕込み作業を担当しました。今年入部した1年生6名は、この日が調理デビュー。婦人会に手ほどきを受けながら慎重に具材を切る作業をしました。岩持斗季子会長は「今年の婦人会は『中学生と関わろう』がテーマ。携わったものを美味しいと食べてもらえる喜びを生徒に感じてもらいたい。」と話します。12日(日)ファミリーマラソン当日、生徒はランナーにねぎらいの言葉を添えて、南部かしわ汁を手渡しました。2年生藤本那々華さんは「“お疲れ様です”と言うと、ランナーも笑顔で返してくれたのが嬉しかった」、3年生部長の竹花実柚さんは「野菜を切る時、婦人会の方々から色々な節約術を教えていただきました♪」と感想を述べました。

今年はおいかわみゆき先生と千葉あゆみ先生の顧問二人体制になり、地域からささかわじゅんこさんが部活動コーチとして一緒に活動することになりました。これまで雫石中家庭部と地域が協働してきたことが継続発展していくための仕組み作りにも取り組んでいます。



効率よく大量の大根を切ることを考えながら作業しました！

人参のヘタはこうやってとるよ！



お疲れさまでした、召し上がれ

学校と地域で練り上げた防災学習を実施

雫石中学校2年生は4日間に渡る防災学習を行いました。この一連の学習は昨年12月から、雫中生に学んでほしい防災をテーマに学校と地域で熟議(意見を出し合う会)を行いながら作り上げたものです。この学習には多くの地域の人に関わり、それぞれの分野でこの学習に携わりながら学校と地域双方にメリットのある活動となっています。雫石中学校は「社会に開かれた教育課程」～地域と学校で作る学習～を目指しています。

5月28日(火)～29日(水)宿泊体験を兼ねて宮古市田老地区を訪問し、東日本大震災津波を経験した方から話を聞き、また岩泉内陸豪雨災害の被災地でも土砂災害を学ぶことができました。

30日(木)午前中、社会福祉協議会の防災出前講座、「その時どうする?クロスロードゲームで考える避難行動」が行われました。これは災害が起こったとき、自分ならどのような判断や行動をとるかをシュミレーションし、様々な災害対応の場面でも誰もが誠実に考え対応できるようになることが目的です。災害時、時間のない中で何を優先するべきかを話し合い、グループで意見をまとめて発表しました。生徒からは「いつも迷ったときは人の意見に頼ってきた。今日は想像力を働かせて自分で考えることが大切だと分かった」と感想が出ました。社会福祉協議会澤口主査は「今日学んだことを家で話題にして、災害時のことを家族で話し合う機会にしてほしい」と締めくくりました。

ゴミゼロ(5/30)の日の午後、例年行っている国道清掃の後、その沿線にある「道の駅雫石あねっこ」に立ち寄り、道の駅おいかわこうや及川恒也さんから、平成25年8月9日発生かまたあきらの雫石町豪雨災害発生時の生々しい体験談を聞きました。「川から水が溢れだし、駐車場の車がプカプカ浮かんでぶつかっていた。事務所まで泳ぐようにして移動した。」という及川さんの話は身近な場所で起こった災害の脅威を印象付けました。また当時災害救援で出動した自衛隊岩手地方協力本部所長鎌田哲かまたあきらさんから、土砂災害や水の威力、命と安全を守る手立てについて学びました。

31日(金)は、雫石町防災課鈴木一正すずきかずまさ係長の「私たちの身近な地域における防災」についての講話を聞き、雫石町の防災と、地域の一員としての防災知識や心得を教えてくださいました。そして役場の災害備蓄用非常食(水・アルファ米)と、日赤からは缶詰を試食用に提供いただきました。

最後に、国語の授業で防災レポートを作成し、学習のまとめとしました。



イーストピアみやこでの震災学習



グループワークの様子



全グループが発表



道の駅及川さんと自衛隊鎌田さん



防災課鈴木一正さん

敬い思いやる気持ちをはがきに込めて

雫石中学校は雫石町社会福祉協議会と連携し、75歳以上の一人暮らし世帯を対象に、令和3年から全校で暑中見舞いと年賀状を送っています。

7月、全校生徒は、受け取る方を想像しながら字形、挿絵、言葉を吟味し、暑中見舞いを作成し、社会福祉協議会を通じて郵送しました。

雫石中生徒会は完成したはがきを独自に審査し、賞を設けています。最近はずっと目を引くだけでなく、字の美しさ、味のあるもの、人柄がにじみ出ているような作品が賞に選ばれていて、こういう作品を届けたいという生徒の想いが選考の基準になっています。生徒は良いはがきを書こうという意欲をもって取り組み、選ぶ側もまた進化しています。



生徒会長賞



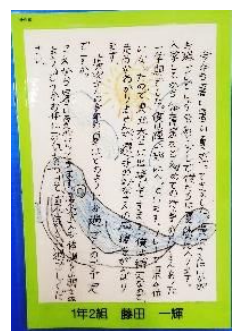
2年3組 和田 白桃花



3年2組 佐々木 結愛



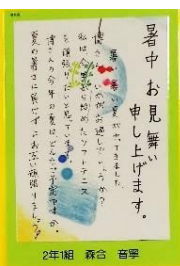
2年4組 藤原 琴音



1年2組 藤田 一輝



2年1組 切原 麗空



2年1組 森合 音響



2年2組 泉澤 佑計



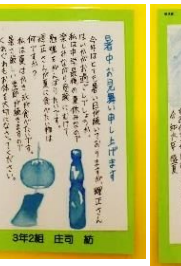
2年4組 滝沢 京香



1年4組 原 慶馬



1年2組 海野 優斗

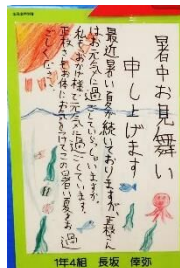


3年2組 庄司 莉



3年2組 千葉 美優

生徒会特別賞

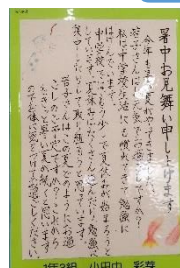


1年4組 長坂 優奈

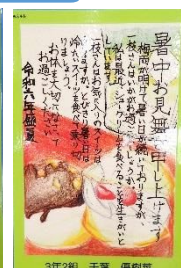


2年1組 天瀬 碧紗

美文字賞

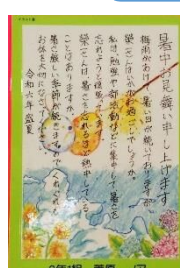


1年3組 小田中 彩芽

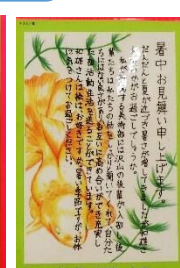


3年2組 千葉 優樹葉

イラスト賞

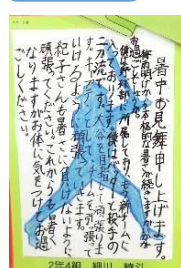


3年1組 菅原 ノア



2年4組 渡邊 心尊

ユニーク賞



2年4組 堀川 綾斗



たくさんのお返事が中学校に届き、生徒の励みになっています



雫石中学校の取り組みは日本郵政

「手紙の書き方体験授業」

▼嬉しいお便りが生んだエピソード集で紹介されています

<https://www.schoolpost.jp/lesson/episode>

ふるさと学習をまちサポ雫石がコーディネート

10月3日(木)、雫石中学校2年生は31の町内事業所に出向き職場体験を行い、10月23日(水)、1年生が20の職場や地域の役割を担う方を訪問し、話を聞くふるさと学習を実施しました。生徒の職業に対する視野を広げるとともに、地元の仕事を知り、人材育成にもつながるキャリア教育として行われています。

この事業はまちサポ雫石が中学校と企業をつなぎ、教育委員会が各企業への生徒の移送、情報発信を担当。学校は生徒の事前指導やまとめ学習を分業することでそれぞれの強みを生かしながら実施する地域学校協働活動になっています。



まちサポ雫石
櫻田代表

10月3日 2年生職場体験

JAねぎ加工センター



C P 1



リアス観光



はーとぼーと雫石



10月23日 1年生職場見学

しずくいし、麻の会



西山まちづくり会議



菊の司酒造株式会社



ちくまヶ丘農場



1年生「職場見学」 2年生「職場体験」 協力事業所一覧 (順不同)

太子食品工業(株)雫石工場、ちくまヶ丘農場、松原農場(まつぼっくり含む)、雫石町立西根保育所、(有)桜商事、(株)しずくいし(道の駅雫石あねっこ)、手打ちそば 山重、リアス観光(株)雫石営業所、雫石町営体育館、東北紙器(株)、社会福祉法人 雫石保育園、盛岡西消防署 雫石分署、介護老人保健施設 はーとぼーと雫石、盛岡セイコー工業(株)、特別養護老人ホーム日赤鷺鳴荘、雫石町立御明神保育所、鷺宿温泉病院、雫石町立図書館、(株)しずくいし YU-YU ファーム、特定非営利活動法人しずくいしいきいき暮らしネットワーク、(株)JA ライフサポート雫石通所介護事業所「笑々館」、(株)KY コーポレーションやまなか家雫石店、菊の司酒造(株)、C P 1(自動車整備業)、(株)中村建設、岩手銀行雫石支店、いわてリハビリテーションセンター、養護老人ホーム松寿荘、社会福祉法人雫石町社会福祉協議会、しずくいし麻の会、JA 新いわて南部営農経済センターねぎ加工センター、網張ビジターセンター運営協議会、DRONE PEAK GRANDE、雫石、語りっこの会、西山まちづくり会議、雫石町まちおこしセンターしずく×CAN

家庭部×レジュイールコラボパン販売



10月20日(日)、雫石中学校家庭部15名は雫石町産業まつりに出店しました。地域の方に教えられ育てた野菜や、ドライフラワーアレンジメントの販売、味噌汁のお振舞いに加え、今年は盛岡市前潟のパン屋 Rejour(レジュイール)とのコラボパンを400個限定で販売しました。部員が育てたサツマイモ、カボチャ、トマト、バジルのペーストを考案し、レジュイールの桐山さんと試作を重ね、3種類のパンを開発しました。部長の竹花実柚たけはなみゆさんは「デザインや、味を引き立てる生地・トッピングも難しかったけど、商品を一言で表すようなネーミングが一番難しかった」と話します。11時の販売開始の前から家庭部のブース前には長い行列ができ、大好評のうちに400個のパンは完売しました。



部員が考えた
パンのデザイン



レジュイールの
工房で試作品作り

野菜作り：よこてひさこ横手久子さん、雫石町農林課

フラワーアレンジメント：
かやほしとしお茅橋寿男さん

パン作り：Rejour (レジュイール) きりやまたいじ桐山太司・な お こ奈緒子さん
夫妻 (町内在住)

販売手伝い：ささかわじゅんこ笹川純子さん

※この活動で得た収益は、社会福祉協議会を通じて赤い羽根共同募金に寄付されます。



パンは1個250円になりまーす



野菜やフラワーアレンジメントも販売

今年も雪んこ見守り隊が訪問しています

1月11日(土)から、全7回の予定で雪んこ見守り隊の活動が始まりました。社会福祉協議会が隊員を募り、一人暮らしの高齢者や障がいのある方等の対象世帯に出向き、安否確認の声かけと玄関先の雪かきを行っています。今年は中学生111名、高校生19名の申し込みがあり、2月22日(土)まで地域のボランティアの方々と土曜日の午後に活動します。

初回には福祉センターで出陣式が行われ、栗石中学校2年藤原聡史郎ふじわらそうしろうさんが活動の意気込みを宣誓しました。この日の参加者は92名。生徒が正しく道具を使い、除雪のやり方を覚え、率先して訪問先の方に挨拶をするよう大人が声をかけながら、それぞれの担当地区に分かれて活動しました。

訪問先では「手術して、おなかに力が入らないから雪かきをしてもらうと助かる!」という方や、「夢を実現させるために、勉強を頑張るね」と生徒にエールを送る方もいました。地域の方とコミュニケーションをとりながら、生徒が何を感じ、学んでいくか楽しみでもあります。



ヤーッ!!!

頑張ると!
ヤーッ!!



お年寄りが滑って転倒しないよう、氷を砕いて通路を確保します



ありがとう、元気だよ♪

風邪などひいていないですか?

III 成果と課題

【成果】

- ・ 雫石町教育委員会と学校運営協議会委員の皆様のご協力で、年3回の雫石中学校学校運営協議会を開催し、学校運営に関するご助言をいただいた。3回目は2月13日（木）の予定。
- ・ 令和5年度に地域関係者の皆様と教職員の思いを共有する熟議（1年ふるさと学習、2年職場体験学習）を開催し、教育課程を見直した。令和6年度から改善を加えた「総合的な学習の時間」の学習内容を進めている。
- ・ 昨年度地域福祉担当から本校で行っている地域学校協働活動の取組について紹介する機会を設けたことにより、今年度はこれまで以上に地域関係者の理解と協力を得ることができた。特に、「よしゃれ祭パレード参加」、「防災学習」の企画等を協働して行うことができた。

【課題】

- ・ 町からの補助金の効果的な使用について引き続き検討すること。
- ・ 地域学校協働活動を進める上で、生徒と直接かかわる教職員が学校運営協議会委員等と交流したり、親睦を図ったりすること。

IV 次年度の計画

- ・ 現在行っている地域学校協働活動の教育的価値を確認するとともに、継続・発展していくように努める。
- ・ 今年度の「総合的な学習の時間」の計画や実践から改善点を見出し、来年度の学習につなげる。
- ・ 生徒の課題点や地域のニーズ等から学習内容を考え、学びへとつなげていく。

令和6年度雫石小学校コミュニティ・スクール実践報告集

第1回学校運営協議会【6月11日（火）15：00～16：00】



- (1) 学校経営の重点について（校長より）
- (2) 教育課程ならび主な教育活動について（教務主任より）
- (3) 創立150周年記念事業等について（副校長より）

第2回学校運営協議会【12月3日（火）15：00～16：00】

- (1) 上半期の学校経営について
- (2) 150周年記念事業について
- (3) 学びフェストについて

第3回学校運営協議会【2月25日（火）15：00～16：00】

- (1) 令和6年度 第2学期 学校経営重点の反省
- (2) まなびフェスト2023 児童・職員・保護者アンケート結果
- (3) 令和7年度の学校運営について
- (4) 150周年記念事業について

教えて、野菜博士！



雫石小学校2年生 学校支援活動

野菜作り名人になろう！！

7月3日(水)、雫石小学校2年生47名は野菜博士の谷地正司さん(雫石町農業者トレーニングセンター指導員)から学級園で育てている野菜作りのアドバイスをいただきました。児童は野菜ごとに12のグループに分かれ、6月上旬に種や苗を植えました。児童は植え方や、育て方を自分たちで調べ、お世話しています。その過程で出た疑問や、上手い方法を知りたいという意欲が出てきたタイミングで適切なアドバイスをいただき、野菜作りの面白さを体感していくのが雫石小スタイル。

児童からの「水はどのくらいやればいいのか？」という質問に谷地さんが「土を握って団子になるくらいが丁度いい。崩れるようだと水がたりないということだよ」と答えると、児童は土を握って確かめていました。これから児童は、谷地さんから教えていただいた野菜作りのコツを実践しながら美味しい野菜の収穫を目指します。



谷地さんからスイカ栽培のアドバイスをもらう児童

この枝豆は上手に育てているなあ！



～町内の皆様へ～ 雫石小学校から ご協力をお願い

創立 150 周年記念航空写真撮影に参加しませんか？

雫石小学校は今年、創立 150 周年を迎えるにあたり、記念事業を企画しております。9 月 26 日(木)、校庭に校章をモチーフにした人文字を作成し、航空写真を撮影します。雫石小学校では、地域の皆様にもご参加いただき、150 周年の節目を共有したいと思っています。なお同日、文化芸術鑑賞「黒澤博之と三弦アンサンブル公演」を開催しますので、地域の皆様には三味線の音色をお楽しみいただいた後、撮影に参加いただければと思います。雫石地区に限らず、町内の皆様のご参加、ご協力大歓迎です。

文化芸術鑑賞と航空写真撮影

日時・会場 9月26日(木) 9:15～「黒澤博之と三弦アンサンブル公演」入場無料
雫石小学校体育館

11:10～ 航空写真撮影 雫石小学校校庭

※雨天の場合、航空写真撮影のみ 10月7日(月)に延期

お問い合わせ 文化芸術鑑賞・航空写真撮影への参加は

雫石小学校 019-692-2203 (副校長 彌勒地) まで申し込みください。

お名前と連絡先を伺い、雨天など、開催日の変更等あった場合連絡します。

申し込み締め切り 9月19日(木)

雫石小学校 創立 150 周年記念

地域のみなさんと航空写真撮影

今年創立 150 周年を迎える雫石小学校は、様々な記念行事を行っています。

9 月 26 日(木)、雫石小学校の校庭で航空写真撮影会を行いました。同日行われた文化芸術鑑賞「黒澤博之と三弦アンサンブル公演」と合わせ、保護者や地域にも呼びかけ、約 50 名の方が参加しました。全校児童は雫石小学校の「校章」、地域の方と職員は「150」を人文字で作りました。



上空からドローンで撮影。完成が楽しみです！

お世話になっている地域に感謝をこめて地域清掃

9月18日(水)、雫石小全校児童は地域清掃を行いました。保護者や地域の方にも呼びかけ、スクールガードの方等21名が見守りを兼ねて参加しました。この活動は雫石小学校の環境教育・ボランティア教育として行われてきた活動で、新型コロナウイルス感染症により出来なかった期間を経て5年ぶりの開催となりました。

学年ごとによしゃれ通り、駅前、アルペン公園など、割り当てられたルートでの清掃に出発し、道端や公共施設、駐車場、神社などのゴミを拾いながら歩きました。参加したボランティアの方たちは一生懸命ゴミを拾う児童の様子に目を細め、児童からの無邪気な質問に笑顔で対応していました。



地域の方に喜んでもらいたい！交流しながら清掃する4年生



こんなゴミがあつたよ！

野菜の苗を購入した大定商店やまさたさんに「野菜美味しくできましたよ！」と報告する2年生



地域とともに150年

ありがとうございました！



III 成果と課題

1. 成果

- ・150周年という節目を迎えた年ということで、地域をあげて活動する機会が増えた。子どもたちの意識の中でも「地域から愛されている学校である」という自覚が生まれ、愛校心が高まった。
- ・地域清掃では、子どもたちが日頃の感謝の気持ちを込めて一生懸命清掃活動に取り組んでいた。地域の方の多数の参加により、安全で充実した活動となった。

2. 課題

- ・「地域のために、自分達ができることは何か。」と自発的に考えることができる児童に育てるために、どんな力を身に付けるために、どんな目的でどんな活動を行っていくのか、指導者側がさらに意識して指導していくこと。
- ・地域学校協働活動のさらなる充実を図ること。150周年記念事業に関わって、地域の方からたくさんのご協力をいただいた。「今度は自分たちが・・・。」という意識で活動をさらに充実させていきたい。
- ・活動をつなげていくこと。各活動は有意義なものになっているが、それぞれが単発になってしまっは、効果が薄れる。各教科とも関連付けながら、「身に付けた力を次の活動でどう生かすか」という視点をもって、効果的に指導していきたい。

IV 次年度の計画

1. 「熟議」による目標の共有

① 第1回学校運営協議会（5月～6月）

目標（テーマ）の共有

② 学校経営について

2. 既存の学校支援活動、地域連携活動の価値付け、発展

①第1回学校運営協議会（5月～6月）

②第2回学校運営協議会（10月～11月）

地域連携活動についての情報共有、振り返り

3. 地域学校協働活動の振り返り、次年度に向けての方向性

①第3回学校運営協議会（2月）

令和6年度七ツ森小学校コミュニティ・スクール実践報告集

I 学校運営協議会の開催

第1回学校運営協議会 6月18日(火) 10:00～11:00

- 令和6年度「地域学校協働活動」実施計画について
 - ・七ツ森ワークショップ
(丸太ベンチの設置、ツツジの植栽)
- 授業参観



(第1回学校運営協議会の様子)

第2回学校運営協議会 11月18日(月) 13:30～15:00

- 令和6年度「学校経営の重点」取組状況
- 令和6年度「七ツ森小学校まなびフェスト」取組状況(7月実施)
- 令和6年度「地域学校協働活動」実施状況
 - ・七ツ森ワークショップ
(丸太ベンチの設置、ツツジの植栽)
- 授業参観

第3回学校運営協議会 2月25日(月) 10:00～11:30

- 令和6年度学校評価
- 令和7年度学校経営方針について

II 特色ある活動

七ツ森小学校 地域学習

～賢治さんの思いを繋げたい～ 「おきな草学習会」開催

5月14日(火)、七ツ森小3年生14名は、「雫石と宮澤賢治を語る会」の方6名に教わりながら「おきな草学習会」を行いました。宮澤賢治の童話「おきなぐさ」ゆかりの地でもある七ツ森。児童は疑問に思っていることを賢治の会のみなさんに質問し、賢治の自然に対する思いを学びました。平成26年から校地内の「おきな草園」に植栽した絶滅危惧種でもあるおきな草を、これからも守り、伝えていくために話し合いました。児童からは、

- ① 2年生におきな草のことを伝えたい
- ② 「おきな草園」の囲いをきれいにしたい
- ③ 校門付近に目立つ看板を立てたい という案が出ました。

七ツ森小児童は、宮澤賢治の作品に触れるたび、自然に関心の深い賢治さんを思い出すことでしょう。

水はどれくらいあげればいいですか？



水はやりすぎないで。水はけのいい土の方が育つんだよ！

雫石町×岩手県緑化推進委員会雫石支部×七ツ森小学校運営協議会

七ツ森森林公園にみんなで丸太ベンチを設置しよう

雫石の豊かな森林資源を守り、育てるために、雫石町と岩手県緑化推進委員会雫石支部は七ツ森小学校運営協議会と連携して「七ツ森ワークショップ」を開催し、七ツ森森林公園に児童がペイントした丸太ベンチを設置しました。

7月30日(火)、七ツ森小児童27名は、体育館で無垢の板と台座にペンキで色を塗り、5色のカラフルなベンチを仕上げました。8月5日(月)は児童17名に学校運営協議会委員、そして地域の方も加わり総勢41名で5台のベンチを設置しました。3年生の仲村ひよりさんは「ここに来たのは初めて。池もあったんだ！」と目を輝かせました。地域の方々と一緒に自然と親む活動となりました。



美しく心地よい森林公園を目指し活動中



力を合わせて運びます！



ドジョウ！？どこどこ？

七ツ森をツツジの花が咲き誇る、自慢のふるさとにしたい

11月9日(土)、七ツ森小学校入り口の東屋付近の町有林でツツジの苗木を植栽する「七ツ森ワークショップ 2024」が行われました。この活動は、雫石の豊かな森林資源を守り、育てる意識を醸成することを目的として、町と(公社)岩手県緑化推進委員会雫石支部が主催しておりますが、植栽活動を通じて、児童の故郷への誇りと愛着を育み、自己肯定感を高めていきたいという学校運営協議会の目的とも合致していることから、諸関係機関との共催で行われています。

児童 16 名を含む総勢 46 名が、小岩井農牧(株)猪内ししうちさんより植栽のポイントを教えていただき一斉に作業を開始。苗木に土をかけ、根と土が密着するように力いっぱい足で踏み、乾燥や寒さから苗木を守るように、落ち葉をかけました。



昨年は 100 本、今年は 200 本のヤマツツジの苗木を植えました



七ツ森ワークショップ参加者

小岩井農牧(株)山林部、国有林材生産協同組合、盛岡広域森林組合、(株)ウッティかわいい、地域のみなさん、七ツ森小児童有志、保護者



林業は目立たないけれど必要な仕事で、子どもたちが緑に触れる今日の体験が、将来の林業の活性化に繋がることを願っています

III 成果と課題

○成果

- ・町と岩手県緑化推進委員会雫石支部の主催に賛同する形で行ってきた「七ツ森ワークショップ」も3年目を迎えた。春には植栽した山つつじがきれいに咲く様子も見られ、これまでの活動の積み重ねを実感することができた。

○課題

- ・七ツ森ワークショップへの子どもの参加を増やすための工夫が必要である。
- ・学校と地域をつなぎ、様々な地域学校協働活動を推進する「地域学校協働本部」の機能をどのように構築していくか、検討していく必要がある。

IV 次年度の計画

○関係機関との連携・協働の拡充を図るとともに、本校学校運営協議会の実態に即した「地域学校協働本部」のあり方について検討を進める。

令和6年度西山小学校コミュニティ・スクール実践報告

1 学校運営協議会

第1回学校運営協議会【6月4日（火）13：20～16：00】 ※3回とも授業参観実施



(授業参観の様子)

◎櫻田一也 ○松原永樹 櫻田久耕
浦田美保子 馬坂ひとみ 齊藤正幸
滝澤美紗子 長澤康之 高田恭平
下川恵司 佐藤賢治 ☆宇部輝彦
★小野寺光夫 千葉恵子

- (1) 今年度の学校経営等について
- (2) 今年度の地域学校協働活動について
 - ・テーマ（重点）
 - ・具体的な活動
 - ・収支予算
- (4) その他

第2回学校運営協議会 【11月13日（水）13：45～15：30】

- (1) 1学期学校評価（職員・保護者評価）・学校経営の成果と課題
- (2) 地域学校協働活動について
 - ア、上半期の活動について
 - ・運動会チャンスレースでのコラボ
 - ・14の活動で学校支援
 - ・岩手大好きクラブ
 - イ、来年度の活動について
 - ・専門的な技能を持つ方だけでなく、誰でも学校に来てできるような活動も進めていきたい。
 - ・地域に貢献し自己有用感を高める活動も行っていくという視点も大事にしたい。



(第2回学校運営協議会の様子)

第3回学校運営協議会 【2月5日（水）13：45～15：30】

- (1) 2学期学校評価（児童・保護者・教職員アンケート）について
年間活動報告について
- (2) 令和7年度学校経営方針について
- (3) 令和7年度推進計画について

2 特色ある活動

西山小学校運動会×地域運動会 地域学校協働活動

楽しみながら防災を学ぶ、地域主導のチャンスレース

低学年のチャンスレースは、お題に該当する人を会場内で探し、手を繋いでゴールする「借り人」競争。お題を確認したら掛け声に合わせて「助けて！お助けマン！」と叫んでスタートします。会場内に一体感が生まれ、笑顔がはじけました。

低学年（1～3年）チャンスレース

探せ！ピンクの時のお助けマン

西山小学校は令和4年から、運動会でされるチャンスレースを地域と協働で行っています。西山まちづくり会議と学校、地域の有志の方々が昨年6月から協議を開始し、5月25日(土)運動会当日までに練習会も含め5回の会議や打ち合わせを重ね、今年も防災をテーマとしたチャンスレースを実施しました。



お題にあった人を探してゴールへ！

お題は「消防団員」
手を挙げてアピールしてます

お題は「災害時に明るくなるもの」
中学生が大活躍のレースでした

高学年（4～6年）チャンスレース

なるほど！ザ ネイチャー

高学年のチャンスレースは防災にちなんだクイズです。○か×か正解だと思う方に進み、解説後に正解が発表され、正解なら3個、不正解は5個の空き缶をつなぎ合わせ、親子で協力してゴールまで運ぶゲームです。解説があることで、会場全体で防災を学ぶ機会になります。児童にチャンスレースを教えに来てくれた西山まちづくり会議事業部会長我妻英樹わがつまひできさんは「子どもたちには西山のことをもっと知って、好きになってもらいたい。将来どこに行っても誇れる故郷であって欲しい」と語ります。



5個は難しいぞ・・・

焦らず慎重に行く作戦！

スピード重視！勢いで乗り切る派！？

地域の方々が畑作りを強力サポート！！

西山小学校では5月21日(火)～6月6日(木)にかけ、地域の方から学級園で畑作りを教えてくださいました。6名の地域の方が、数名ずつ入り、学年ごとに畝づくり、マルチ掛け、種や苗の植え方などを指導し、児童は移植ベラで溝を作ったり、マルチの穴あけなど積極的に作業しました。地域の方も「よいしょ！」と声を出すと力が入るよ」と児童に声をかけ、楽しく交流しました。時間内に作業を終えた学年に、「オーガニック雫石」代表の堂前節子さんが「うんちのはなし」の紙芝居を読み、微生物の働きによる食べ物の循環の話をしてくださいました。

植えたあとも、時々様子を見に来て、草取りをして下さったり、育て方のアドバイスをいただき、児童も先生も助けられながら収穫を目指します！！

ハイ、やりたーい！



よいしょーっ！！



児童に紙芝居を読む堂前さん



畑サポーター

高橋勝明さん、武田長榮さん、堂前節子さん、桐山桂子さん、高田栄子さん、高田良子さんありがとうございました

ミシン学習ボランティア ～「自分でできると嬉しい！」を応援！～

西山小学校5年生21名は、家庭科ミシン学習でランチョンマットを制作しました。町内にミシンボランティアを呼びかけ、9月19日(木)から3回に渡り、3名の方がサポートに入りました。5年担任^{ひらやま}平山教諭が手順の指示をだし、児童は8台のミシンでそれぞれ作業します。近くにボランティアさんがいてくれることで、児童は緊張感を持ちつつ、安心して作業を進めることができました。初めてミシンボランティアに入った横手タイ子さんは「自分の孫のように可愛い」とご自身も楽しみながら児童をサポートしました。



ミシンボランティアの^{よこて}横手タイ子さん、^{たかはしやすこ}高橋安子さん、^{きとうのりこ}佐藤紀子さん

子どもたちに、地元の歴史や風習を知ってもらいたい

6月28日(金)西山小学校3年生19名は、自分たちの地域を知る「西山めぐり」に出かけました。

雫石神社(雫石たんたん)には、「雫石」の名前の由来である、大きな岩穴の雫の伝説があります。総代長の柴橋幸蔵さんと別当の熊野美代さんは、今では聴こえなくなった雫の音に代わり、地域の人達が作った「水琴窟」という仕掛けで再現した雫の音を児童たちに聞かせてくれました。神社は昔、勉強会をしたり、紙芝居を読んだり、地域の人達が話し合いをしたりする大事な場所だったと教えていただきました。

岩手山神社は7月2日(火)の例大祭に向け、境内の鳥居には茅の輪が取り付けられていました。半年間の穢れを清め、残り半年の無事を祈る「夏越の祓え」という神事が行われます。児童は宮司の笹田裕一さんに作法を教えられ、茅の輪をくぐり、本殿を参拝しました。この日も多くの参拝客が、境内の湧き水を汲んでいる様子を見た児童が「岩手山神社の水はなんで美味しいんですか？」と質問。総代長の篠村幸造さんは「ここから200mくらい奥に、アカサンショウウオが住めるほどきれいな水が湧き出ているので、その水を引いているんだよ」と教えてくれました。

児童はこのほか葛根田水力発電や、玄武洞、弘法桜など、地域の名所や、産業を見て回りました。



ご神木の根元の岩穴からは、かつて「たあゝんたあゝん」と雫の音が響いていました(雫石神社の伝説より)



「水琴窟」の不思議な水の音に耳を澄ませる児童(雫石神社)



茅の輪をくぐって半年の厄を祓う児童(岩手山神社)

西山小学校スポーツクラブ

グラウンドゴルフに挑戦!

「いつでも」「どこでも」「だれでも」楽しめる生涯スポーツ♪

クラブ活動

子ども会

親子レク

10月9日(水)、西山小学校スポーツクラブ24名は、雫石町総合運動公園でグラウンドゴルフ体験を行いました。雫石町グラウンドゴルフ協会の5名が指導にあたり、コースの設定、道具やスコアカードの準備等、1時間の中でたくさん体験できるように準備してくれました。児童は4チームに分かれ、ルールを教わりながらグラウンドゴルフを楽しみました。事務局大村滋充さんは子どもたちが体験する機会を増やし、グラウンドゴルフを広めていきたいと話します。



農家の仕事を知りたい ネギ農家さんにお話を聞く

9月9日(月)、西山小3年生19名は、社会科「農家の仕事を知ろう」の学習で、3ヘクタールの畑に10種類のネギを栽培している^{ささだとしあき}笹田利明さんを訪ねました。

最初にネギ畑に行って、ネギの栽培に適した土にするため土壌診断をしながら改良していることや、一度病気が発生すると一晩で畑に広がってしまうので毎朝見回りし、手をかけて栽培していることを教えていただきました。その後、ネギの皮をおき箱詰めする作業場へ移動し、その作業工程を見学しました。

ネギ農家になった理由や、ネギの美味しい食べ方、動物に荒らされないかなど、児童からたくさん質問が出ました。笹田さんは「化学肥料だけでは弱いネギに育ち、有機(無農薬)肥料を与えると、本来持っている力を発揮する。一部の畑では化学肥料を一切使用しない栽培も試している」とネギ作りの奥深さを教えてくれました。

栽培しているネギは東京方面に出荷したり、町内の直売所で売られたりしています。



笹田利明さん

機械で収穫します



ネギの箱詰め作業場



栗石の歴史・産業を知りたい! 栗石巡り

9月10日(火)、西山小学校3年生18名は栗石めぐりに出かけました。

西根地区の「民宿しらかば」の蔵には先祖が使用していた古民具が展示されています。管理している^{やまもとひろこ}山本弘子さんから、昔は敷地内の木で花嫁道具の「からど」という箆笥を作り、車輪をつけて嫁ぎ先へ運んだ話などを聞きました。

小岩井農場では、牛舎や重要文化財に指定されている建物を見学し、牛乳ができるまでの話や、小岩井農場の歴史を学びました。

道の駅しづくいしあねっこで昼食・施設見学をした後、橋場地区で貝の化石が取れる場所に向かいました。児童が安全に学習できるようにと教育委員の^{ちばのぼる}千葉昇さんが林道の草刈りを行い、橋場地区の^{みかみゆうこ}三上友子さんが、児童の川渡しのお手伝いと見守りに駆けつけてくださいました。児童は夢中で貝や魚の化石を探し、栗石が大昔海だったことを体感しました。



民宿しらかばの蔵にある昔の民具

これは牛の何を
する道具でしょうか?



地域とともにある学校をめざして

西山小学校は、日頃から多くの地域の方が学校に訪れ、児童と交流が行われています。10月26日(土)に行われた学習発表会は、日頃の学習の成果と地域の方への感謝の気持ちを発表する場となり、保護者だけでなく多くの地域の方が参観しました。

3年生は社会科「農家の仕事」で地域の笹田利明^{ささだとしあき}さんからネギ農家の仕事を学んだことを劇にして発表しました。児童がネギのキャラクター「ねぎ太くん」をコンテストで選び、学習のまとめとして「いわて純情ねぎ やわら香」を宣伝するための手作りチラシをジョイス 雫石店のネギコーナーに掲示する経緯などを演じました。

伝統芸能クラブは、学習発表会を日頃の練習の成果の発表の場として、上長山無形文化財振興会^{いわいとしかず}の岩井敏和^{かちんとしき}さんの唄と嘉門俊樹^{なかがわくみこ}さんの太鼓に合わせ、「雫石よしゃれ」を披露しました。

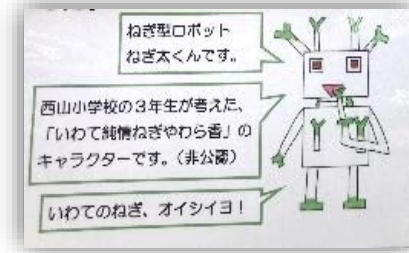
上長山の中川久美子^{わがつまのぶこ}さんが伴奏を担当した4年生の合唱「小さな勇氣」は、上長山の我妻信子^{なかがわくみこ}さんから教わった手話も交え発表しました。全校合唱「たらりら〜雫石・西山バージョン〜」は、5年生のアイデアを基に、雫石や西山地区の名所が登場するような歌詞に編曲し、会場を盛り上げました。

渡り廊下に飾られたフラワーアレンジメントは10月24日(木)のクラブの時間に、花卉生産青年部「hana 会んだんだ」の3名を講師に招き「岩手大好きクラブ」と「イラスト工作クラブ」が制作したものです。児童と一緒に校長先生や、先生方もフラワーアレンジメントに挑戦しました。

西山小学校では多くの地域の方との交流を通し、地域ぐるみで子育てを行い、学校は地域を愛する子どもを育てる実践を行っています。



「ねぎ型ロボット ねぎ太くんの物語」を演じる3年生

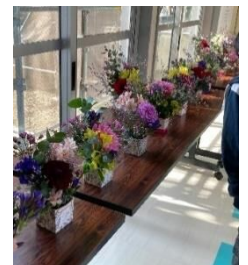


11月12日までジョイス雫石店にチラシを掲示



全校児童で「たらりら雫石・西山バージョン」を披露

「男よしゃれ」
伝統芸能クラブは学校
を通して西山地区に部
員を募集しています



子どもの頃から花に触れる機会を持ってほしい



地域団体と協働でクラブ祭を開催



12月4日(水)、西山小学校で初の試み、クラブ祭が開催されました。岩手大好きクラブでお祭りをやりたい！という話から始まり、学校と一緒に出来ることはないかと模索していた「好恵舎～^{こうけいしゃ}OZASIKI」(上長山地区にある閉店したお店『旧プチマート』を拠点に活動している任意団体、以下おざしき)と協働でお祭りをすることになりました。そこから全てのクラブが参加するクラブ祭に発展。お祭りなら全校で参加しよう！地域にも声をかけよう！と広がっていきました。保護者や、お世話になった地域の方、西山地区に班回覧で呼びかけ、たくさんの方が来校しました。

13:30の開始に先立ち、校庭でのろし花火を打ち上げ、お祭りスタート。射的や的当て、輪投げ、空気砲、スーパーボールすくい、型抜き、オセロ対決など14の屋台が体育館とひびきあいホールに出店し、各クラブの子どもたちが企画運営しました。

屋台で使えるお祭り券は、宿題やお掃除、奉仕活動等を頑張ったと認められると発行される仕組みで、この券をもらうために児童は日々の生活から頑張っており組みました。

家庭科室では、家庭科クラブが焼きりんごときなこ餅を準備し、特別支援学級児童は、育てたさつまいもを調理し振舞いました。西山小のシンボルツリー「棗(なつめ)」のお茶を試飲し、その効能も知ることができるコーナーもありました。景品のおもちゃは児童が使わなくなったものを持ち寄り、スーパーボールや、射的の道具、輪投げなどの縁日の小道具は、「ふるさと文化振興基金」の助成金で「おざしき」が準備しました。1～3年生がそれぞれ体育館から昇降口までの往復を自作の御神輿^{おみこし}を担ぎ練り歩き、全校児童が「ワッショイ！ワッショイ！」と囃^{はや}したてました。

林崎地区から参加した方は「どこのお祭りも子どもの参加が少なくなってきたと聞く。こうしてみるとやっぱり子どもはお祭りが好きだね！」と子どもたちの様子に目を細めていました。「おざしき」代表の堂前節子^{どうぜんせつこ}さんは「子どもたちで計画実行してとても良い。人に喜んでもらいながら達成感を感じて欲しい。子どもたちや地域の方の顔が見れて、お互いを知る機会になるのがいい」と話しました。



六名の「おざしき」スタッフに見守られ、縁日を楽しむ児童たち



イラスト工作クラブ おみくじ



科学クラブ 空気砲



ゲームクラブのオセロ



なつめ茶ブース



学校田で採れたもち米のきなこ餅や焼きりんご、さつまいもを試食する児童たち

二年生による御神輿



III 成果と課題

1 成果

- (1) 今年度もさまざまな学習や活動への支援を頂いたことで、学習効果を高めることができた。特に、3年目となる運動会チャンスレースの企画運営（防災クイズ等）、地域（西山・雫石）めぐり、家庭科学習の学習支援など、多くの地域の方々とふれあいながら支援していただくことができた。また、畑作りでは、作業の仕方を熱心に指導していただいたり微生物のお話をして頂いたりしたことで、子ども達の関心が高まった。
- (2) 「岩手大好きクラブ」の活動では、今年度も多くの方々に支援して頂きながら、さまざまな体験をすることができた。特に、地域団体の協力を得ながら「クラブ祭り」を開催して、全校児童だけでなく地域の方々も参加し大いに盛り上がった。学校と地域のつながりが一層深まった活動となった。

2 課題

- (1) 体験活動を吟味したり結びつけたりしながら、より実りのある活動にする。
(例えば・・・)
 - ・農業体験で植える作物を意図的に決めて、収穫祭につなげられるようにする。
 - ・農業体験を、クラブ祭り（収穫祭）に結びつけ、地域の方々への感謝も表す会にする。
- (2) 自己有用感をもつことができるよう、地域に役に立つ（地域貢献）という視点も大事にする。
- (3) 地域の方々が気軽に学校に来て支援できるような活動を工夫する。
- (4) 「西山まちづくり会議」との連携を図る。

次年度の計画

- 1 次のようなテーマ（重点）に沿った活動を推進していく。
【テーマ】 「地域とともにある学校づくり」
【重点】 ・地域の方々との交流・支援を通して学習の充実を図るとともに、地域のよさを学び、郷土に誇りをもつ児童に育てる。
- 2 地域（「西山まちづくり会議」）との連携を図りながら、次のような活動を進めていきたい。
 - ・合同運動会 ・環境学習 ・地域ふるさと学習 ・ミシン（裁縫）学習
 - ・農業体験（米づくり、畑作り） ・里山教室（学校林の見学） ・スキー学習
 - ・清掃活動 ・感謝の会（お祭り） ・岩手大好きクラブの体験学習 など

令和6年度御明神小学校コミュニティ・スクール実践報告集

I 学校運営協議会の開催

第1回学校運営協議会 令和6年6月6日(木) 15時00分～16時30分 11名

- 今年度の学校経営、年間行事計画、まなびフェスト等について
- コミュニティ・スクールの取組「環境教育を軸にふるさとの良さを学ぶ」について
- 「地域と学校を結ぶ共通のテーマ」について
 - ・チョウセンアカシジミ観察保護・竜川水生生物調査・アルミ缶回収
 - ・春木場駅清掃・橋場文化祭・御明神・橋場地区盛り上げ隊
- 今年度について
 - ・地域学校協働活動は道の駅とのコラボ「御明神地区・橋場地区盛り上げ隊」は6年生を中心に取り組む。
 - ・「チョウセンアカシジミ」の観察保護活動を重点に取り組む。



第2回学校運営協議会 令和6年11月19日(火) 15時00分～16時00分 10名

- 上半期の学校評価(自己評価)と学校経営上の課題について
 - ・「理由をつけて」の教職員の意識と児童や保護者との差が見られる。
 - ・「メディアルール」について保護者への働きかけを徹底したい。
 - ・児童、保護者、教職員の結果を照らし合わせながら指導にあたる。
- 次年度の予算要望方法について(担当から)
 - ・来年度の予算要望は、今までのようにはならず講師謝礼などは、学校の他の予算になる見込みである。
- 学校支援・地域連携・地域学校協働活動について
 - ・スキーボランティアの要望。
 - ・「雫石盛り上げ隊」道の駅雫石あねっこの地域学校協働活動について、動画やポスターなどの紹介を行った。今後の活用について参加者からご意見をいただいた。



第3回学校運営協議会 令和7年2月14日(金) 13時30分～15時00分 10名

- 次年度学校経営計画の説明(校長より)
- 下半期の学校評価と学校運営上の課題について(校長より)
- 今年度の学校運営協議会の活動の総括について
- 次年度の学校運営協議会の活動について
- 委員の質疑応答と意見交流次年度学校経営計画の承認
- 全学級の授業参観の感想
 - ・低学年も成長が見られ、学習に向かっていた。
 - ・3年生の体験学習も良かった。4年生の外国語も英語がすらすら使えていて積み重ねがすごい。
 - ・高学年の情報モラルは正しい判断をしていく上で大切な学習であると感じた。



「本を楽しもう！」読み聞かせと、POP作りポップ(^^♪)

5月17日(金)16時半から御明神公民館で、読み聞かせや本の紹介POP作りを行いました。御明神みらいづくり協議会と地域人財塾の合同企画で実施され、御明神小児童8名、雫石小児童5名、御明神小読み聞かせの会「みかん」のメンバー、地域の方に加え、御明神小^{ねのた}布田校長も参加し、本に親しむ時間を過ごしました。さわや書店の栗澤^{くりさわ}順一氏によるPOP作り講座では他の人が読みたくなるように、イラストや感想を入れたり、配色のアドバイスを受けたりしながら児童は思い思いのオリジナルPOPを仕上げました。

御明神公民館には「はぐみ本棚」が設置されています。地域の皆様、お気軽にご利用ください！

紙芝居「ももちや
んのおみせやさん」
に聞き入る児童たち



POP作りの色は、3
色くらいが見やすい
ですよ



御明神小学校 地域学習

森林を守る大切さを学ぶ 学校林体験学習会

7月5日(金)御明神小学校5年生9名、6年生11名は橋場地区にある学校林で森林体験学習会を行いました。児童は2018年の御明神小学校開校の時に植樹した12本の杉の木の成長を毎年観察し、下草刈り体験を行っています。この活動は子どもたちに山の仕事を知らせてもらい、自然に対する関心・愛護の気持ちを育てるため、学校林管理会の指導の下、保護者も参加し行っています。

この日も4人の学校林管理会の方と、3名の保護者が、緑の少年団の衣装を着けた児童と杉の成長を観察しました。6年生の長澤^{ながさわ}悠翔さんは「去年214cmだった木が、今年は420cmに成長し、2倍近く成長していることが分かった」とこの一年の成長に驚いた様子。学校林管理会副会長の千葉^{ちば}和彦さんは「子どもたちの身近にある山がこうして手入れされていることを知って、自然を保護する気持ちを持ってもらいたい」と話します。学校林管理会会長の原^{はら}正人さんからは「人が山に入る時は、熊の生息地にお邪魔しているという気持ちで入るように」と近年増えている熊に注意しつつ、自然に対する心構えを教えてくださいました。



樹高と幹の太さを計測する児童



御明神小児童は緑の少年団として活動しています

地域とともにある学校

明小ギャラリー in 春木場駅

御明神小学校では春木場駅に明小ギャラリーのスペースを設け、年間を通して児童の作品をコピーして掲示しています。地域の方の目に触れることにより、児童の制作意欲や自己肯定感を高めるねらいがあります。春木場駅を利用する地域の方に御明神小学校に親しみを感じていただきたいという思いもあります。

9月からは夏休みの作品や、自由研究のコピーを掲示しています。



電車の待ち時間に鑑賞できます



明小ギャラリーの一例



栗石の歴史・産業を知りたい！ 栗石巡り

御明神小学校3年生10名は9月13日(金)に、栗石めぐりを行いました。

かみわのばとうかんせおんどう
上野馬頭観世音堂は平成28年に国の有形文化財に指定された馬をまつているお堂です。管理するいわもちときこ季子さんから、馬は家の仕事をしたり移動手段でもあったり、家族のように大切な存在だったと教えられました。

岩手山神社で参拝し、総代篠村幸三さんしのむらこうぞうから湧き水の話をお聞きいただき、手づくりアイスクリーム牧舎松ぼっくりでは松原たみえさんまつばらから、ジェラート作りの話や、お客様・なかまに感謝しながら働くことの大切さを教わりました。

道の駅しずくしいあねっこで昼食をとり、産直を見学した後、児童は化石採りを行いました。夢中で化石を探し、講師の佐藤賢治先生さとうけんじに「これは化石ですか？」と確認する児童たち。この日の体験が、ひょっとすると将来考古学者を目指すきっかけになるかも知れませんね!?



上野馬頭観世音堂に
收藏される貴重な資料

松ぼっくりでお話を
聞く児童



御明神小学校 6年生 地域学校協働活動 道の駅とのコラボレポート①

御明神小学校は『じゃらん全国道の駅グランプリ2021 道の駅満足度ランキング』で全国第2位になった「道の駅雫石あねっこ」(以下雫石あねっこ)を盛り上げ、全国第1位にするべく協働で取り組んでいます。「雫石あねっこ」の知名度を上げ、集客を増やすことは、産直コーナーに出品している地元生産者や、出品者の利益にもつながっていく可能性のある取り組みです。

9月25日(水)、6年生11名は「雫石あねっこ」を盛り上げる活動を企画・実施するヒントを得るために同施設を訪ね、物販事業部おがさわらかのぶ小笠原崇のぶさんから説明を受けながら施設を見学しました。児童は見学後、函館への修学旅行で見てきたことをもとに考えたアイデアを小笠原さんにプレゼンテーションしました。「柔軟なアイデアばかり!皆さんの力を借りて一緒に形にしたい」と小笠原さんも意気込みます。児童は、この見学を通して「雫石あねっこ」をどうやって盛り上げるか、更に練っていきます。



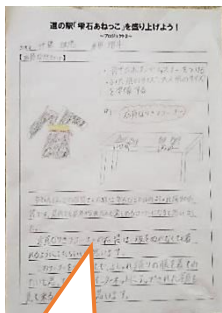
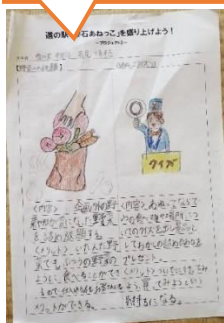
食事メニューは雫石産食材を使用



一押し商品が目立つようにレイアウト

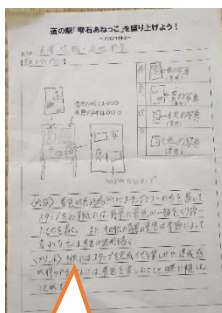
道の駅を盛り上げるために考えたアイデア 第一弾!

野菜詰め放題&
あねっこクイズ



「雫石あねっこ」店員なりきりコーナー

肉巻きおにぎり&
レインボーソフト



景色スタンプラリー



今年新設された足湯につかり、景色となめらかな泉質を体感。

御明神小学校

橋場の文化祭で児童の作品を展示

9月29日(日)、旧橋場小学校を会場に橋場の文化祭が開催されました。御明神小学校児童の作品が展示され、児童が通っていた頃の学び舎の雰囲気を演出しました。



道の駅の魅力を発信！ポスター&動画作成

10月11日(金)、御明神小6年生児童11名は、「道の駅雫石あねっこ」(以下雫石あねっこ)を訪れました。9月25日の施設見学後、「雫石あねっこ」を盛り上げるアイデアを出し合い、ポスターや、HP 動画を作成することになりました。児童は自分たちで体験し、味わい、楽しまなければ臨場感は伝わらない！と、3つのグループに分かれ、キャンプ場のウォータースライダーや、足湯、名産品、季節限定メニュー等PRしたい題材の写真や動画の撮影を行いました。



水辺でポスター用写真の撮影

児童の地域を盛り上げたいという気持ちが、たくさんの方の賛同を得ながら、道の駅や御明神地区、雫石町を明るく元気にしていくことが期待されます。



足湯を紹介する動画の撮影

「雫石葉わさびうどん」は子どもが食べても美味しい！！



この美味しさをどう伝えるか…思案中

道の駅

雫石あねっこ PR 動画&ポスター完成披露

御明神小学校6年生11人は、御明神地区を元気にすることを目指し、地域の拠点となる「道の駅雫石あねっこ」(以下雫石あねっこ)を応援しようと取り組んできました。

11月29日(金)、道の駅関係者を学校に招き、「雫石あねっこ」をPRする動画とポスターの完成を披露しました。地元の方々でも知らない裏スポットに着目し、児童が体験したこと、味わった商品を子どもの目線でPRしています。この動画や、ポスターをどのように活用していくか意見を出し合い、「雫石あねっこ」物販事業部小笠原次長の「道の駅で動画もポスターも活用したい」という提案で、12月下旬から施設内で公開されることになりました。「雫石あねっこ」大橋社長は「これからも子どもの視点でのアイデアが欲しい」と児童に呼びかけました。

この様子は同日のIBC 岩手放送「ニュースエコー」でも紹介されました。



PR動画とポスターを関係者に披露



III 成果と課題

◎成果

- ・学校運営協議会を3回開催する中で、地域と学校との情報交換を行うことができた。また、まなびフェスト（児童・保護者・教員）の集計結果などを開示・説明することで、学校の運営方針にご意見をいただくことができた。
- ・今年度は「道の駅雫石あねっこの地域学校協働活動」を進めることができた。本校児童も知らない場所や商品などを調べて動画やポスターで発信し、道の駅のピーアールをすることができた。道の駅にポスターを掲示したところ、その商品が多く売れたことを担当者から聞くことができた。

●課題

- ・学校安全や生徒指導のいじめ事案なども、積極的に情報交換し、教職員以外の考えも取り入れていく必要がある。
- ・来年度予算に関わり、地域の方を講師とした活動では、地域貢献をしながらお互いに成果がある内容を考えていく必要がある。

IV 次年度の計画

1 令和7年度の方針

地域に根差した教育活動の推進

2 重点事項

身近な文化や環境に関心を持ち、地域の方々との交流を図り、郷土を愛する心情を育む。

3 実施内容

① 伝統や文化の教育（茶道・お琴）

地域の茶道講師1名、ボランティアを2～3名依頼し、各学期に1回ずつ茶道教室かお琴教室をひらき、日本古来の文化を学ぶことにより、児童や参加したボランティアの方々が茶道に触れることで所作や作法に興味を持ち、地域への普及につながる。

② キャリア教育

地域で活躍する方を2～3名依頼し、地域で活躍する方々の話を聞き、児童が将来の夢や、地域への憧れの心を持ち、後継者が育つ。

③ 地域学習（道の駅コラボ 6年総合的な活動）

地域の商業施設で働く方を2名ほど依頼し、2学期から3学期にかけて地域を盛り上げる活動を考える。自分たちの住む地域を盛り上げることにより、地域活動が活性化する。

④ 地域学習（チョウセンアカシジミ・水田）

環境アドバイザーや水田の講師などを依頼し、1学期から2学期にかけて環境保全活動に関する学習を行う。児童が環境問題に関心を示すことで、地域の環境保全活動に参加する機会が増え地域の活動が活発化する。

⑤ 地域学習（探検）

地域の様子をよく知る方を講師に依頼し、2学期に地域めぐりを行う。特色ある町の様子を児童が知る機会ができ、地域の方々には児童の様子を知っていただき、手紙などを通じて温かい交流が図られる。

⑥ 学習支援（マラソン・スキー）

マラソン講師 1 名、スキー講師 10 名から、2 学期から 3 学期にかけてスポーツの特質や技能を教えてもらう。幼少期から教えていただくことで児童が興味をもち、地域のスポーツ活動が活性化する。

令和6年度御所小学校コミュニティ・スクール実践報告集

I 学校運営協議会の開催

【第1回学校運営協議会】 6月13日（木）18:00～19:00

1 今年度の学校経営等について

(1) 「ふるさとの良さを学び、ふるさを大切にしようとする心豊かな子どもの育成」を目指してどのような取り組みができるかを話し合う。

- ・防災学習（消防団操法演習見学、消火、放水体験）
- ・ふるさと遠足（大村そば作り、鶯宿スタンプラリー）
- ・環境美化学習（虹色花壇花植え、地域ゴミ拾いなど）
- ・各施設との連携による体験学習（入所者との交流など）

(2) 検討事項

- ・保護者だけでなく地域の方も参加しやすいように周知する。
- ・同じことの繰り返しにならないように工夫を加える。

御所小学校 6月13日



◎廣瀬誠 ○上野新人 工藤政善
澤口文香 高橋勝弥 高橋秀之
吉田博輝 米澤繁 下川恵司
☆堀切茂行 ★山根一志

（御所小学校第1回運営協議会の様子）

【第2回学校運営協議会】 10月10日（水）18:00～19:00

1 上半期の学校経営について

(1) 児童や教職員の様子の報告、課題に向けた今後の取り組みの意見交換

（参考として令和5年度の「教育目標に関するアンケート」（保護者、児童の評価）の提示）

(2) 今年度の行事の振り返りと評価

- ・にじいろ花壇の花植え
- ・ふるさと遠足
- ・スクールガード紹介式
- ・施設交流（特別養護老人ホーム 障害者支援施設）

2 令和6年度の学校評価の実施計画について

(1) 県の教育振興計画、町の教育振興基本計画を受けて御所小学校教育目標を設定。県の学校教育指導指針、御所小学校まなびフェストから評価アンケートを作成

(2) クラウドサービスを利用して児童や保護者のアンケート調査を予定

3 学校運営協議会にかかわる今後の活動予定

(1) 防災学習

- ・消防団操法演習見学（全校）
- ・放水体験（各学年代表児童）
- ・消防団との対決による消火体験（6年生、教職員）

(2) 環境美化学習（クリーン作戦）

【第3回学校運営協議会】 2月20日（金）13:10～14:20（授業参観日に予定）

1 授業参観

2 令和6年度の学校評価の結果について

3 令和7年度の学校運営について



（御所小学校第2回運営協議会の様子）

II 特色ある活動 (雫石町コミュニティ・スクール通信より抜粋)

御所小学校 地域交流活動

にじいろ花壇で花植え交流

5月30日(木)、すがすがしい天気の中、県道盛岡鶯宿温泉線と学校をつなぐ学校坂道の花壇に花植えを行いました。通称「にじいろ花壇」です。黄色のマリーゴールドや赤、白、ピンクのペゴニアなど、色とりどりの花が、にじのように咲き、見る人を明るい気持ちにしてくれます。

昨年までは、子ども達だけで植えていましたが、今年度からPTAボランティアを募ったり、「コミュニティ・スクール通信」で地域の方に呼びかけてみたりしました。すると、呼びかけに応えPTA7名、地域の「戸沢いきいきサロン」の方4名にお越しいただき、一緒に植えることができました。

花植えは午前中、学年ごとに行われ、参加者は自分の都合の良い時間に参加し、子ども達はアドバイスをもらいながら花を植え、楽しく交流を行うことができました。多くの方に見守っていただいたおかげで、美しいにじいろ花壇ができあがりしました。花が咲き続けるまで目を楽しませ、心を癒やしてくれそうです。

「今回、小学生がいない世帯の方にも参加いただき、地域の人達の温かさに触れる機会となったのが良かった」と山根副校長先生は話します。



アドバイスをもらって植えました✿



にじいろ花壇が学校と地域の架け橋に

御所小学校ふるさと遠足

9月10日(火)御所小学校1~4年生はふるさと遠足に出かけました。

2年生18名は旧大村小学校で初めてのそば打ち体験をしました。児童はできた蕎麦をお土産として持ち帰りました。お昼には、大村小学校利活用の4名の方が給食室で蕎麦を調理してくださり、児童たちは美味しい山菜そばをいただきました。蕎麦作りの合間に、大村地区の吉田金さんが、表情や身振り手振りを交えて昔語りをしてくださり、児童たちは聞き入っていました。

3年生11名は御所地区の7名の民生員の方々と、鶯宿温泉でウォークラリーを行いました。鶯宿温泉開発(株)がお題を準備し、約50年前の鶯宿温泉の写真を頼りに、現在の場所を探し当てます。児童と地域の方で想像力を働かせながら、過去と現在を見比べて歩きました。

御所小学校ふるさと遠足は、地域の方と楽しみながら御所のことを知ることができる行事です。



村田徹さん、上野新人さん、藤原幸治さんがそば打ちの先生



地域の安全を守る消防団の活動を知ろう

10月31日(木)、御所小学校で消防団第2分団による消防操法の実演が行われました。この活動は児童の防災意識を高めることと、消防団の活動を児童や地域に周知するねらいで、4年目の開催となりました。今年は班回覧や学校運営委員の呼びかけで、近所の方やふれあいサロンの方も児童と一緒に声援を送りました。

消防団による操法実演の後、団員と6年生によるバケツリレーで消火競争が行われました。今年は団員チームに先生方が加わり、例年以上に盛り上がった対決になりました。驚盛教諭は「いい経験が出来た」と児童との対決を笑顔で語りました。その後、防火服を着た24名の児童が、団員に教わりながら放水体験をしました。

5年生廣瀬雅季ひろせまさきさんは「消防団のてきぱきとした動きがすごかった。来年はバケツリレーで勝ちたい」と意気込みを語りました。



消防操法の実演



6年生 vs 消防団+先生チームの消火競争

て放水開始！
火元の的をめがけて



消防操法には火災の時に役立つ動きがたくさんある。災害時は自分の命は自分で守る！を心がけて欲しい
(霰石町消防団 よねざわまさき 米澤正記副団長)

御所小学校 クリーン作戦

いつまでもきれいな御所地区であるために

11月1日(金)、御所小学校で今年度2回目のクリーン作戦が行われました。今年は保護者7名に加え、地域の方へも呼びかけ8名の地域ボランティアが参加しました。この活動は身近な地域を清掃することでより良い環境を作ろうという児童の意識を高める目的で行われています。児童と地域の方が一緒に活動することにより、御所地区の環境美化の輪を広げていくことが期待されます。

児童は①ファミリーランド、②学校を起点にした3コースに分かれての歩道、③旧南畑小学校付近の歩道④御所保育所の4つの清掃箇所に分かれ縦割り班ごとにゴミ拾いや、落葉掃き、奉仕作業を行いました。



① ファミリーランドで地域ボランティアとゴミ袋18個分の落ち葉を集めました

②地域ボランティアさんと一緒に作業しました



④御所保育所では窓ふき、草取り、石拾いをしました



③旧南畑小学校付近の歩道のゴミ拾いをする児童



うぐいすの郷デイサービス敬老会 ～まごころ通う交流会～

9月9日(月)、御所小3,4年生年生29名は、うぐいすの郷デイサービスの敬老会に参加し交流を行いました。1学期には1,2年生が日赤鷺鳴荘^{にっせきおづめいそう}、5年生は御所保育園に出向き交流しました。御所小と地域の施設との交流はコロナ感染症の影響で実施できない期間もありましたが、昨年から再開しています。

デイサービスの方々に温かく迎えられた児童は「よしゃれ」と合唱を披露し、利用者さんたちは手拍子で応えました。利用者さん一人一人と自己紹介し合ったり、好きな食べ物やスポーツを教え合ったり、体の痛いところをさすってあげたりしました。児童は、目線を合わせ、しっかり声が届くように大きい声で語りかけ、利用者さんたちは笑顔で応えていました。

4年生担任の外館教諭は「児童にはこの交流を通じて、お年寄りについて新たな気づきや、相手のことを考えられる力をつけて欲しい」と話していました。うぐいすの郷の鷺見さんは「児童にお年寄りと接する仕事の楽しさを知って欲しい。利用者さんたちの今日の笑顔は、私たちじゃ引き出せない。子どもたちだからですよ!」とこの交流の意義を伝えてくれました。



児童の「よしゃれ」に思わず涙ぐむ方も

とっても、上手だよ！
ありがとう！



おじいさんは何のスポーツをしてましたか？

(学校より地域に配布した各行事のチラシ)

保護者の皆さん・地域の皆さん
どうぞいらしてください
参観自由です

御所小学校 防炎学習
令和6年10月

消防団操法実演見学会を開催します

日時 **10月31日(木)**
13:40~15:00

場所 **御所小学校 校庭**

地域で活躍する消防団の活動を見学することで、
防災の意識を高めましょう!

見どころ その1
消防署2分署による **ポンプ車操法実演披露**

見どころ その2 **消火対決**
消防団の皆さん VS 6年生のバケッラー

見どころ その3
児童による **放水体技**

【お問い合わせ】
平石町立御所小学校
担当: 副校長 山根
電話 692-2206

昨年春の活動の様子から

令和6年10月

御所小学校からご協力をお願い

子ども達と一緒に地域の清掃活動をしている若く方を募集しています。お時間のある方は、ご協力をお願いします。

11月1日(金)は クリーン作戦
※雨天の場合、11月12日(火)に延期します

【日時】
11月1日(金)9時30分~10時20分(雨天の場合は翌日に延期します)
※1日に雨天で延期する場合は、御所小学校のホームページに掲載します。

【集合時間】
9時15分頃に児童玄関前にお集まりください。
解散は10時30分になります。
お車は、体育館側の駐車場をご利用ください。

【活動場所と活動内容】
①ファミリーランド(落ち葉掃き、落ち葉集め)
②御所保育所(ふみき、石拾い、草取り)
③にじいろ花壇~マラソン周回コース(ゴミ拾い、落ち葉集め)
④旧南加小学校付近(ゴミ拾い)
(御所小学校~町営富信グラウンド付近の歩道)

【お願いする内容】
児童と共に活動しながら児童の安全を守っていただきたいと思えます。

皆様のご協力をお願いします。当日は作業手袋などをご持参ください。

【お問い合わせ】
平石町立御所小学校
担当: 副校長 山根
電話 692-2206

III 成果と課題

1 成果

- ・学校経営の方針等について学校運営協議会委員から承認を得て、理解と協力をいただきながら円滑に学校運営を行うことができた。
- ・にじいろ花壇の花植え、防災学習、クリーン作戦の参加を、地域にチラシを配付したり、学校運営協議会委員が声がけをしたりすることにより、昨年度より多くの地域の方が参加した。児童も地域の方とふれあうことで充実した学習ができた。
- ・「ふるさとのよさを学び、ふるさを大切に作る心豊かな子どもの育成」のために、実際にその場に出かけての体験は有意義な活動であると実感できた。
- ・「ふるさと遠足」では大村の蕎麦打ちや鶯宿温泉街の手すり拭き、ウォークラリー、町場地区園地清掃、川辺園地での川遊びを実施した。地域の人、もの、ことの良さを学び、地域とつながる活動となった。次年度以降も継続して実施していきたい。

2 課題

- ・地域の方が参加できるように事前に広報で知らせたり当日の体制を整えたりすること。学校の教育活動の充実と共に、参加する地域の方も元気になる活動になること。
- ・防災学習やふるさと遠足、花植えやクリーン作戦など、今後も継続して続けていくために、学校運営協議会の中で振り返りを行いながら毎年内容を工夫していくこと。

IV 次年度の計画

- ・今年度同様に3回の運営協議会において学校運営、学校評価について協議し、地域とともにある学校経営を推進する。
- ・学校と地域のつながりを深め、学校も地域も有意義になるように、参加しやすくなるような呼びかけを実施する。
- ・「ふるさと遠足」での大村の蕎麦打ち体験、鶯宿温泉街の手すり拭き、ウォークラリーを継続、町場地区園地、水辺園地での活動を発展させること。
- ・命を守る学習（復興教育）も意識した「防災学習」を継続、発展させること。



(残雪の駒ヶ岳)